

# 令和7年度 第11回（2月）教育委員会定例会 会議録

日 時：令和8年1月26日（月） 15時00分～17時15分

場 所：村民センター 小会議室

出席者：教育長 尾形 浩 教育長職務代理者 田中 博美

委 員 千 菊夫・増澤 智代・平野真也

事務局：教育次長 藤澤 勇 学校教育係長 征矢 久仁子

以上7名 傍聴人：なし

## I 開 会

## II 教育長あいさつ

【南箕輪の風にて】

〈事前配付会議資料1〉

- 1 教育情報 ～共に学び合う～ ○ 「困る子」をつくらない
- 2 主幹指導主事から（2/4(水)）
- 3 給食費の抜本的な負担軽減に関する措置への対応  
南箕輪村の対応と郡内他市町村の対応の状況
- 4 学校教育係関係
  - (1) 文科省「学校の教職員の働き方改革推進事業」
    - 1/7(水) 南部小のWS ⇒ 3月に試行（1月号の学校だよりから）
    - 3/2(月)～16(月) 南部小 のばそうを行わずに15分下校を早めた取組(試行)
    - 2/12(木) 南中の業務改善の研修（パターン2+パターン3）から
    - 2/20(金) 南小の授業改善の研修から
  - (2) 卒業式・入学式の日程と出席分担について（修正版）
  - (3) 学校自己評価の結果に関する保護者向け文書
  - (4) 来年度の学校づくりに向けた資料  
（グランドデザインには、ぜひ、校長先生の学校経営ビジョンを入れてくださいと  
依頼してあります）
- 5 社会教育係関係
  - (1) 文化講演会の様子から（2/15(日)）

- (2) 講演会 絵本作家 長谷川 義史氏 のお話から (2/21(土))
- (3) 令和7年度 20歳のつどいの反省
- (4) 人材育成推進委員会から R8年度の各種講演会の時期と講師について (検討中)
- (5) 令和7年度 第2回南箕輪村図書館協議会から (1/28 (水))
- (6) 第4回 青少年健全育成協議会から (1/27(火))
- (7) 第3回 南箕輪村中学校スポーツ・文化活動運営協議会 (1/30(金))  
休日の地域クラブへの入会手続き等について

## 6 その他

- (1) 広報 みなみみのわ での教育情報の発信について 【別紙資料参照】
    - 3月号・・・授業の様子から「共に学び合う」 (南小 3年算数)
    - 4月号・・・子育て情報 「あたたかな まなざしで」 (村教委 加藤相談員)
  - (2) 教育委員会だより「ああ 遠くの空は 晴れている」
    - No5 2/17(火)「あたたかな まなざしで」No2  
南箕輪小 松崎校長「寛容」
    - No8 3/10(火)「共に学び合う」No2 南箕輪小 3年 算数
    - No9 3/17(火) 教育大綱について(1) + Q&A
    - No10 3/24(火) 教育大綱について(2) + Q&A
    - No11 3/31(火) 教育大綱について(3) + Q&A
- + 自炊力に関する資料添

## Ⅲ 付議案件

なし

## Ⅳ 協議事項

- 1 令和8年度南箕輪村の教育 (全4ページ構成のリーフレット)
  - ・・・全教職員、各議員ほか関係者に配布予定 (事前配付 会議資料1)
  - P1 教育大綱の抜粋から
  - P2 学校教育の重点
  - P3 社会教育の重点
  - P4 各係の年間関係事業一覧表、学校教育を支えている教職員の方々

## 教育委員

- p1 働き方改革の推進の中・・・文章がここだけ敬体、他は体言止め⇒揃える  
社会教育の3番目 健やかな心と体の育成が落ちている⇒入れる。
- いくつかの誤植は修正
- p4 各系の年間関係事業一覧表等・・・3月末の時点で正確なものを入れる
- p3 公民館活動の講座等も令和8年度版に修正する。

## 教育長

南箕輪村教育委員会の令和8年度の重点、関係各系の活動内容等が一覧できる情報として、このリーフレットを作成したい。小中学校の教職員約150名、教育委員、社会教育委員、村議員、役場理事者・管理職等に配付予定。また、教育関係者で本村に視察等に見えた方々に配付したい。

今から13年前、箕輪町教育委員会学校教育専門官として秋田県能代市の教育委員会を訪問したときに、こういったA3 2つ折りのリーフレットをいただいて参考になった。その後、平成25年度に箕輪町教育委員会版を作成した。今回、南箕輪村教育委員会のリーフレットの特徴はp4の各系の年間関係事業一覧表と学校を支えている教職員の方々の一覧を掲載したことである。

この1枚のリーフレットで、本村の教育委員会の大まかな情報を把握いただければと願っている。

## V 報告・確認事項

- 1 小中学校3校 学校自己評価のまとめと令和8年度に向けて〈会議資料2〉

### 教育長

各校には、学校自己評価のまとめを丁寧に作成するよう依頼。保護者向けの通知には前文で、このアンケートの趣旨を記載し、自由記述の意見には、その意向を十分くみ取った上で、学校側の見解、改善策等をできるだけ具体的に記していくよう依頼した。

今回のまとめでは、南箕輪中の自由記述への回答が大変参考になる。これならば、意見を寄せた保護者の方も、学校側の考え方をご理解いただけるのではないかと思います。厳しい意見は、学校をよりよくしていく貴重な情報であるので、大事に受け止めたい。

○南部小の児童の校長先生への要望の声が素直でよい。学校行事等を変える時には子どもの声も聞いてほしいという方向は大事に受け止めたい。子どもの権利条約の中で、子どもたちは自分の考えを述べる権利が保障されている。校則の意味を考えたり、中学であれば、経ヶ岳強歩大会を復活させるか否か、生徒たちに考えさせてみるのもいい、経験者である親の世代との意見交換の場があってもいい、いずれにせよ、子どもたちの声を聴く機会を大事に位置付けたい。

○南箕輪中のグランドデザインがすっきりして大変わかりやすくなった、今までの目標がたくさんありすぎて、どこをめざすのかがわかりにくかった。今回示された方向を大事にして、全職員で力を合わせて取り組んでほしい。

○小学校の学校自己評価のまとめ、保護者の自由記述への回答、さらに工夫してわかりやすく、具体的な手立てを明記していくとよい。

## 2 児童・生徒数について

〈会議資料3〉

※会議資料にて報告

## 3 事故報告

※なし

## 4 各委員から口頭で

○ 社会教育委員との懇談で話題になった「わんぱくランド」のような楽しいイベントを企画してほしい。実施時期、実施方法、実施団体等、負担なく、あまり手間をかけずに、ブラッシュアップした形で企画できるといい。楽しい企画は子どもたちが喜ぶはず。

○ 村の日のイベント(2/15(日))として、村民の歌と信濃の国を合唱した。その

声出しの練習を南小の合唱クラブも参加してハワイエで行った。約50人近い人数が展示してある土器を囲んで、1つの輪になってピアノに合わせて歌った光景がとても印象的でよかった。ピアノがあり、人が集い、歌が生まれ、とてもすてきな空間となった。今後、イベントとして楽しく集える具体例を実感できた。

- 南中の働き方改革の研修を見学した。講師の方も、20代から30代は時間外勤務150～300時間であったのが、子どもが生まれてから、時間外勤務は0となったとの話。価値観が変わったとのこと。共助から自助によって、創造的余白の時間をどう生み出すかがカギである。生み出した時間の中で何ができるのか、充実した授業ときめ細やかな生徒指導が展開されれば、それはその学校のカルチャーとして育っていくのが理想であろうと思う。

- 20歳のつどいの、実行委員のアンケート参考になった。

問題は、今後どういう流れで、この実行委員会方式で具体的に動くのか、大まかな流れ、呼びかけのタイミング等の計画がほしい。たまたま役場職員等に対象者の保護者がいてそこから連絡が・・・では長続きしない。

## 教育長

### 20歳のつどいの実行委員の募集について

例として、1年前に社会教育係から、実行委員会募集の案内が広報され、希望者が応募する形を作る。そして、その概略を3月の中3生徒の同窓会入会式にて、事務局から、3年生に4年後こういう募集が広報されるから、ぜひ積極的に参加してほしい旨を連絡する。それを毎年行っていくという2段階形式を考えたい。

担当者の考えを組み込みながら、よりよい計画を具体的に構想していく。

## 5 2月事業報告・3月事業計画について

〈会議資料5〉

※会議資料にて報告

## 6 3月、4月の教育委員会定例会日程

3/30日(月) 15:30~17:00 村民センター小会議室

4/22日(水) 15:00~17:00 村民センター小会議室

## VI 閉 会

### 教育長

総合技術新校設立の懇話会に参加しました。伊那北駅西側に伊那新校、総合技術新校の2校が今後開校予定。地形的に南北に長い上伊那では、少子化等の課題に対応するために、高校再編となると真ん中の位置になってしまうのもわからないわけではないが、南部の地域にとっては、駒ヶ根工業高校が1校なくなってしまうという大きな痛手を伴うものであり、なかなか難しい課題がまだまだあるように思う。高校再編という難しさを改めて実感した機会でした。

本日は、総合教育会議に引き続いての定例教育委員会となり、長時間にわたっての協議、お疲れさまでした。ありがとうございました。